

平成25年度 芳賀町立芳賀中学校 学校評価書

学校評価のねらい

すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議員=学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

1 校訓・教育目標

校訓	創造 敬愛 実践	教育目標	自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 たくましい生徒 ふるさとを愛する生徒	(創造) (敬愛) (実践) (本校の使命)
----	----------------	------	---	---------------------------------

2 目指す学校像

すべての生徒と職員が 夢を育み 知を磨き(創造) 心豊かに(敬愛) 汗を流して(実践) 高め合う学校
--

3 学校経営の方針

基本経営理念：「明日の芳賀町を担う生徒の育成」 ～誇れる、つよい学校・生徒づくり～ 1 生涯学習社会に生きる生徒の育成 2 望ましい生活習慣と社会性の育成 3 確かな学力の保証 4 豊かな心をもつ生徒の育成 5 健やかな体をもつ生徒の育成 6 全職員による学校経営参画 7 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営

4 本年度の指導視座と重点項目

視座：10年後の勝負に勝てる生徒を育てる 重点項目：人間力の基礎・基盤をつくる・・・思いやりの心と確固たる生活習慣 →おみそあじ・・・「思いやり 身だしなみ そうじ あいさつ 時間を守る」
--

5 今年度の重点目標・努力点

1 確かな学力を身に付けた生徒の育成 プロジェクト知 ①基礎的・基本的な知識や技能の定着 ②課題解決のための思考力・判断力・表現力の育成 ③主体的な学習態度の育成
2 豊かな心をもつ生徒の育成 プロジェクト徳 ①道徳の授業の充実 ②学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の充実
3 健やかな体をもつ生徒の育成 プロジェクト体 ①心身の健康増進 ②部活動の充実
4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成 生き方指導 ①学業指導の充実 ②生活の基盤づくり ③郷土愛の育成 ④生涯学習社会に生きる資質の育成

6 評価の仕方

評価ランク	生徒・保護者の評価	教職員・学校関係者評価委員の評価
A	よくあてはまる	十分達成できた
B	ほぼあてはまる	概ね達成できた
C	あまりあてはまらない	あまり達成できなかった
D	まったくあてはまらない	達成できなかった
E	よくわからない	

※評価の中で最多数のものを評価値とする。

※学校関係者評価欄の□は成果、■は課題とする。

7 評価表

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標		自己評価		学校関係者評価	
		生徒	保護者	評価	達成状況と改善策	評価	□成果 ■課題
1 確かな学力を身に付けた生徒の育成プロジェクト	・教職員は基礎的・基本的な知識や技能の定着に努めている。	①どの子にもわかりやすい手立てを実践し授業展開している。		B	【達成状況】 ・授業の始めの本時のねらいの提示、学習過程の提示、視覚情報の提示、個別指導の工夫等、わかりやすい手立てを実践している。 【改善策】 ・ねらいや学習過程の提示等、研究してきた手立てをもう一度見直す。 ・授業の中での工夫が生徒にとってはわかりやすいと感じたかどうか、授業の最後にアンケートをとって検証する。	A	□学力向上のための取組が明確であるので、全職員の共通行動で成果が上がっている。 ■あいさつや文章を読み上げることはできるが、会話や原稿なしの発表となると伝えることがうまくできない。その当たりの訓練が必要。
		②基礎・基本の知識や技能を定着させる手立てを講じている。		B	【達成状況】 ・授業の始めの本時のねらいの提示、授業の流れの提示、電子黒板・具体物・ワークシート・ホワイトボードなど提示資料の工夫、小テストの実施、ふりかえりの学習、個に応じたヒントプリントの工夫等の手立てを講じている。 【改善策】 ・小テストの実施、ワークの提出、ワークシートの工夫、復習プリントの作成と実施。 ・小テストによる基礎基本の定着のために、再テスト、NGレポート、プレテスト等を行う。また、問題数を減らし、できる喜びを味わわせる。 ・質問・自習の時間をテスト初日にも行い、回数を増やす。 ・「学習の心得七箇条」の中から、月の目標を選び、月末に振り返りをさせる。また、もっと意識して指導する。 ・学習会で行う内容を提示して、授業形式にし、参加者を募る。		
	・教職員は生徒の思考力・判断力・表現力の育成に努めている。	③観察・実験・レポート作成・論述・発表など、言語活動を取り入れている。		B	【達成状況】 ・国語・理科の授業では論述や発表の活動をよく取り入れている。 【改善策】 ・総合的な学習の時間においてレポートにまとめたり、発表を行っているが、調べ学習ではなく、課題解決学習になるよう充実させる。 ・全ての教科・領域でもっと取り入れて授業展開する。		
		④コミュニケーション能力を育成するため授業の中にペア学習やグループ学習などすべての生徒が話したり聞いたりする場のある授業を進めている。		B	【達成状況】 ・国語、英語、理科、社会、体育の授業ではペア学習やグループ学習を実施している。 【改善策】 ・全ての教科・領域で実践していく。 ・話し合い活動の方法を指導する。 ・「1分間スピーチ」を原稿なしで行わせる。		
	・教職員は生徒の主体的な学習態度の育成に努めている。	⑤興味、関心を高めるために、教材の活用や授業展開の工夫に取り組んでいる。		B	【達成状況】 ・教材の開発、具体物の提示、最近の話題の活用、ワークシートや資料の活用等に取り組んでいる。		
		⑥「家庭学習の手引き」「学びのすすめ」などを活用し、家庭学習への取り組み方を指導している。		B	【達成状況】 ・年度当初に活用して指導した。 【改善策】 ・全ての教科担任、学級担任で、年間を通して随時取り組んでいく。 ・具体例を挙げて取り組み方を指導する。 ・教科の学習法と家庭学習法に整合性をもたせたり、見やすい資料(学びのすすめ)にする。		
外部アンケート	生徒	保護者	意見				
・私は授業がよくわかる。	B		・授業の進むペースが速い。大切な所は時間をかけてほしい。もう少しわかりやすくしてほしい。				

			<ul style="list-style-type: none"> 文字を読みやすく書いてほしい。 細かい部分まで授業で教えてほしい。 もう少し説明の声を大きくしてほしい。 テスト期間だけでなく時々ワークをやる時間がほしい。テスト前の課題が多すぎる。 「わかりません」の解答に対して理解するまで指し続けるのはやめて、わからないところを解説してほしい。 英語の授業のとき、教科書の本文を読むのをふやしてほしい(あまり覚えられないから)。 ワークを使った授業をしてほしい。 テスト範囲の説明をもう少し詳しく書いてほしい。 授業で発表するとき、生徒にすべてやらせるとスムーズにいかないの、先生が説明してほしい。 テスト前なのに範囲以外のところを進めて復習しないので復習の方がよい。 なかなか人前で発表するのが下手なので、文化祭の生徒会イベントに参加したい。 授業で積極的に挙手できるようにしたい。 平等に教えて欲しい。 家庭学習ノートを2ページにしてほしい。 机が小さく感じる(大きい方がいい)。 質問・自習の時間など、先生に分からない所を聞きに行ける時間がもっとほしいです。
・私は学習内容の大切なところがある身についている	B		
・私は人前で自分の考えを発表することができる	C		
・私は授業に一生懸命に取り組んでいる。	A		
・私は毎日家庭学習をしている。	A		
・子どもは授業がよくわかっている。	B		<ul style="list-style-type: none"> 授業の他に苦手な科目の基礎・基本を教えてくれるような時間を設けていただけるとありがたい。多分、自分からは、参加しないと思うので、強制的でも教えてほしい。 授業に関しては、個人ごとに理解力の差があるので、各教科の先生はテスト結果を授業に反映してほしい。 前年に比べ成績が下がった。分からないこと、学習の仕方、悩んでいた時期があり、気づいたら力になって頂きたい。 科目によっては、補助の先生を増やすなど細かいフォロー、学力向上をお願いします。英語などネイティブの授業を増やすなど座学もリスニングも充実して頂きたい。 陸上大会に参加し、1日授業を抜けるとその日にやった内容がわからなくなるそうなのでフォローして欲しい。 教科によってわかりやすさに差があります。 授業中の先生の字が小さかったり、声が小さかったりと言っています。 うるさくしている生徒を注意しない事があるそうです。 授業の進みが遅いのでつまらないと言っています。先生の話が授業以外の話になってしまい授業が進まない。多少は分かかりますが、あまり多いのはどうかと思う。 先生はある特定の生徒と授業をしているときがある。 自分の考えが発表できるかどうか、最近の学校での様子を知りたい。 得意科目や好きな科目についてはよく理解し意欲がありますが、その反対の科目となると極端に悪い。
・子どもは学習内容の基礎・基本が身についている。	B		
・子どもは人前で自分の考えを発表できている。	B		
・子どもは授業に意欲的に取り組んでいる。	B		
・子どもは毎日家庭学習をする習慣が身についている。	B		

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策	評価	□成果と■課題
2 豊かな心をもつ生徒の育成プロジェクト	・教職員は道徳の授業の充実に努めている。	①道徳の授業時数35時間を実質的に確保している。	B	【達成状況】 ・出張や行事等でカットになった分を学級活動と振り替えて時数を確保している。	A	□道徳の授業参観や道徳通信の発行と、よく取り組んでいる。 ■道徳通信をもとに家庭で話題にしているかどうか、調べてみて親の意識を知るのがよいのではないのか。
		②「生命尊重」「思いやり」「感謝」を内容項目とした道徳の授業の充実に努めている。	B	【達成状況】 ・道徳教育推進教師と相談しながら授業づくりを行ったり、学年共通で「生命」や「勤労」等のテーマに取り組むことができた。また、生活の中で使える資料を選び、心に響くように指導した。		
		③道徳の授業公開、参観後の懇談会、道徳通信の発行を実施することができている	B	【達成状況】 ・道徳教育推進教師が中心となって実施することができた。また、学年ごとに「道徳通信」も2回発行できた。授業参観では「いじめ」をテーマに授業を		

徳				し、保護者と話をすることができた。		
	・教職員は学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の充実に向けている。	④学校行事に積極的に取り組むように支援し、「感動」を与えていることができる	A	【達成状況】 ・行事の振り返りを通して、感動を追体験している。 ・行事を通して団結することの大切さ(望ましい人間関係の構築力)、一生懸命やることのすばらしさ(自主的、実践的な態度の育成)を伝えている。		
		⑤体験活動との関連を図るため、「道徳コーナー」を充実させることができる	B	【達成状況】 ・掲示物を工夫している。 【改善策】 ・全教員が係わっていく必要がある。 ・授業内容に関係ある写真を掲示する。		
		⑥清掃活動において、「6つのルール」を徹底させ、母校を研ぎ、心を磨くことができる	B	【改善策】 ・清掃活動の「6つのルール」を掲示し、意識付けをする。また、その都度、「6つのルール」を意識しているかどうか指導する。 ・全職員がチャイム前に分担当場所に行つて指導するように徹底する。 ・清掃活動の写真を掲示し、清掃の素晴らしさを感じさせる。		
外部アンケート	生徒	保護者	意見			
・私は道徳の授業で、「生命尊重」「思いやり」「感謝」の心などを学んでいる。	A	/	/	・もっと思いやりに関して授業をしてほしい。 ・清掃用具を充実させてほしい。 ・清掃の時間が短い。(時間内におわらないことがある。) ・本校の約束の無言清掃ができていない。 ・半袖、ハーフパンでの清掃は、まず先生が模範になるべきではないか。 ・部活動の時間がとても短い。月曜日の休みをなくしてほしい。		
・私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。	A					
・子どもは「生命尊重」「思いやり」「感謝」の心の大切さを感じている。	B				・相手の気持ちを考えられず、簡単に普通の会話のように平気で言うような雰囲気があり問題だと思う。まじめに良い行動、勉強などする様子をみせると逆にちやかすような雰囲気があるようです。	
・子どもは家庭で一生懸命家事等の手伝いをして	C				・友達に対しての思いやりがかけているのでクラスが好きではありませんと、子どもが言っていました。 ・部活動や勉強に励まなければならず、中学生が家庭の手伝いをするのは難しいと感じている。親もつい過保護になりがちです。 ・手伝いをしてほしいが、何故かしてくれません。どうしたらよいか模索中です。	

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策	評価	<input type="checkbox"/> 成果と <input checked="" type="checkbox"/> 課題
3 健やかな体をもち生徒の育成プロジェクト	・教職員は生徒の心身の健康増進に努めている。	①「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化に努めている。	B	【達成状況】 ・生徒に常に話をしたり、学級だよりで啓発している。 ・アンケートによると意識しているという割合が上がっている。 【改善策】 ・親子で「早寝・早起き・朝ご飯」の講話を聴く機会を設ける。 ・生徒、保護者に根気よく働きかけていく。	A	<input type="checkbox"/> 部活動で成果が上がっており、すばらしい。 <input checked="" type="checkbox"/> 早寝ができないようである。学校が要求している学年+1時間の学習時間では無理がある。
		②教科や学級活動等で食育の授業を行っている。	B	【達成状況】 ・学年朝会で栄養教諭による講話を行った。その成果が出ている。 【改善策】 ・栄養教諭と連携しての授業を定期的に入れる。 ・身だしなみ、つめ、白衣などのチェックを強化する。 ・教師間で気になったことの情報交換をする。		

				・生徒、保護者に根気よく働きかけていく。
	③新体力テストの結果を活用し、授業で補強運動に努めている	B		【達成状況】 ・不足している体力の強化を意識し、主運動前に取り入れている。 【改善策】 ・体育集会など、楽しく体を動かせる企画をする。
・教職員は部活動の充実に努めている。	④目標をもって意欲的に部活動に取り組ませる運営ができています。	B		【達成状況】 ・高い目標をもたせ運営している。 【改善策】 ・部顧問でよく話し合い、運営について協力していく。 ・部活動に目標がもてていない生徒に、満足、達成感をもたせ、ねぎらいの言葉をかける。
外部アンケート	生徒	保護者	意見	
・私は「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している	A			<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか0時に寝れない（テスト勉強で0時を過ぎてしまう）。 ・おかしを食べてしまう。 ・テスト前に部活動をするのはやめてほしい。 ・もっと部活動時間を延長して欲しい。 ・何で月曜日休みにになったのかわからない。 ・もう少し体力に合った部活動をやってほしい先生が勝手に決めないで、生徒の意見を聞いてほしい。 ・部活動の大会等で良い成績を残したとしても自分一人ばかり怒られる理由が分からない ・レギュラーを選ぶときは実績じゃなく実力で見てほしい。
・私は食生活をよくしようとしている。	A			
・私は意識して体力向上に努めている。	A			
・私は目標をもって意欲的に部活動に取り組んでいる。	A			
・子どもは「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている。		A		<ul style="list-style-type: none"> ・給食献立会（試食会）よかったです。 ・毎日の通学だけでもかなりの運動だと思います。おかげで、体力もつき、食事の量も増えました。 ・部活動で体力がついてきています。 ・部活動では、先輩によく見てもらったりしている。 ・未加入であるが陸上、駅伝では、自分のため、学校のため、チームのためにつらいこともあったが頑張っていた。目標が明確であり、いい経験をさせて頂いたと思う。 ・何かと忙しくても、学習の時間を確保させたい。 ・常にバランスよく食べているから。 ・部活動以外のスポーツ ・必修科目である柔道ですが、この時期、ケガの率が高く、部活動への影響も大きいように感じられます。
・子どもは食生活の改善に努めている。		B		
・子どもは体力がついてきている		A		
・子どもは部活動に意欲的に取り組んでいる。		A		

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策	評価	<input type="checkbox"/> 成果と <input checked="" type="checkbox"/> 課題
4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っている	・教職員は学業指導の充実に努めている。	①一人一人が学級に所属感や連帯感を感じる居心地のよい学級づくりに努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> 【達成状況】 ・芳賀中版「学業指導の手引き」をまとめて、学校全体に働きかけをした。 ・生徒主体の取組活動を取り入れている。 ・一人一人の個性を生かした学級づくりに取り組んでいる。。 【改善策】 ・不登校が増えて、対応のサポートができていないので、トライやSCとうまく連携をとる。トライの活用方法を確かめ、学年の先生の関わりも増やしていく。 ・芳賀中版「学業指導の手引き」のフィードバックをする。改善、活用する。 	A	<input type="checkbox"/> 3年間で大きく成長した生徒の姿を見かけました。
		②集団生活や対人関係におけるルールが生徒に共有され、人間関係が良好な学級づくりに努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 【達成状況】 ・善悪の判断、人間関係づくり等、大切な事を指導している。 【改善策】 ・不登校で困っている生徒には、その行動を理解してサポートし、学校が楽しいと思わせる指導をする必要がある。 		

	<p>③建設的な相互作用がある学級づくりに努めている。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治を心がけて指導している。 ・互いによいところを認め、発表している。 ・切磋琢磨したり、助け合ったりすることを指導している。 ・行事等を通して成長することができている。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学活、道徳を充実させていく。学級間で資料や授業の内容の情報交換を行う。
<p>・教職員は子どもの生活の基盤づくりに努めている。</p>	<p>④基本的な生活習慣の確立に努めている。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し指導している。 ・時間、あいさつ、整理整頓、身だしなみ、返事、係活動等をしっかりとやるように指導している。 ・保健集会を通して伝えることができている。 ・チャイム前に授業に行く先生がほとんどになった。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えて行動できる学級づくりを目指す。(生徒の自治能力・・・時間になれば指示しなくても開始できるしつけ、指導) ・部活動での指導に力を入れる。
	<p>⑤規範意識や倫理観の育成に努めている。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し指導している。 ・道徳の授業や全校集会で指導している。 ・ダメなものはダメと徹底させる雰囲気づくりをしている。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を充実させる。 ・とらい、養護教諭、SCがしっかり連携をとることと、生徒指導主事が担任をもたず、自由に動けるとよい。 ・朝会の校長講話を学級でふり返ると効果が大きくなる。
	<p>⑥キャリア教育・進路指導の充実に努めている。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現を目指して計画的に指導している。 ・高校入試の特色選抜についての理解を深めさせるように指導している。 ・マイ・チャレンジの体験活動を通して指導している。 ・経験談や周囲の大人たちの話をしたり、あらゆる選択肢、可能性があることを話している。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員がキャリア教育に関する研修をする必要がある。 ・特別支援学級の就労体験をできるようにする。
<p>・教職員は子どもの郷土愛の育成に努めている。</p>	<p>⑦生徒が町の行事(教育祭、体育祭、環境美化の日等)に積極的に参加するように推奨している。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に呼びかけをしている。 ・お囃子や地元の祭、道の駅でのイベントにも参加させている。 ・部活動の活動時刻を配慮している。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加させるには家庭の教育力が必要で、保護者と連携していく。 ・町民祭のサンマ焼きのボランティアにはもっとたくさんの生徒を参加させる。
	<p>⑧総合的な学習の時間において、郷土に係わる内容を取り上げ郷土愛の育成に努めている。</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイ・チャレンジとの関連で郷土について考えさせている。 ・1, 2年は地元密着型で進めていて、関心を高めた。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成に際し、総合のあり方を見直す必要がある。 ・テーマの見直しが必要である。1, 2

			年のテーマは地域密着型がよい。 ・教師側の事前準備を十分する。
・教職員は子どもが生涯学習社会に生きていくための資質の育成に努めている。	⑨学校生活の場面で主体的に選択、決定させ、その判断に責任をもたせる場や機会を設定している。	B	【達成状況】 ・指導には時間をかける必要があるのですが、そういう機会を増やしている。 ・今の考え方、行動が自分の生き方であると指導している。 ・なるべく生徒主体で活動できるように心がけた 【改善策】 ・支持を減らし、考えさせる場を増やす。 ・頭ごなしの指導をせず、子どもの意見を聞いてあげる機会をつくる。多感な思春期なので、人前で叱るなど、自尊心を傷つける指導はしない。 ・社教主事資格者を活用し、生涯学習についての話をする。 ・生き方講話を実施する(赤羽さん、赤穂さん、卒業生など)。 ・教員が夢を語ったり、生徒をほめて育てる指導をする。

外部アンケート	生徒	保護者	意見
・私たちの学級は互いに一人一人を大切にし、居心地がよい。	A		<ul style="list-style-type: none"> 男子が休み時間にうるさいので改善していきたい。 自分勝手な人が多い。 クラスの宿題の提出率が低かったり、休み時間等の過ごし方が悪い。 生活面や社会ルールは本来、家庭で行うべきだが十分に注意が届かず学校の諸先生方にご指導して頂くことは申し訳なく思っていますが、本当にありがとうございます。これからも厳しくお願いします。 交通ルールのマナーの向上を強化すべきだと思う。 もっと身だしなみ(とくに髪)を強化すべきだと思う。 女子の言動に気をつけてほしい。本人たちは気にしていないようですが、正直いって今はあまり学校に行きたくない。 クラスの雰囲気が悪すぎる。いごちが悪い。このクラスにいるのがいやだ。どうすればクラスが良くなるのでしょうか？ けじめができない生徒が多い。 先生がいない時うるさい。 先生たちは、怒ってばかりだからたまにはほめてほしい。 部活動、大会などがあり、参加できないことが多くなっている。 町の行事があるときは、部活動を半日か休みにしてほしい。
・私たちの学級は一人一人がルールを守り、協力的である。	B		
・私たちの学級は一人一人が一生懸命に諸活動に取り組み、互いに高め合っている。	A		
・私は町の行事(教育祭、大運動会、梨の里マラソン、環境美化の日など)に参加している。	A		
・私は自分の考えを大切にし、自分をよりよくしようとしている	A		
・子どもは学級・学校が楽しいようである。		A	<ul style="list-style-type: none"> 大変恵まれた住環境で、友だちにも恵まれ、先生方の熱心なご指導をいただき感謝しております。 クラスメイトやクラスの雰囲気がとても良いようで、とても楽しいと言っています。 周りにあまり興味が無いせいか、ただ何となく過ごしているような感じがします。 大勢の中でも自分の意見を一人一人言えるようになるとう良い。 部活動での練習試合等で入ってしまうためなかなか思う様に参加できないが、クリーン芳賀には数回参加して社会参加を感じたのではないかなと思う。 学校生活はそれなりに充実しているようですが、地域活動(ボランティア)などへの参加にも目を向けてほしいと思う。 参加はしているけど意識が高まっていない。 「楽しさのあまり、悪い影響も受けてしまっている。」と先生から指導があった。自制心がついてほしい。 全体認識としてははっきりといじめ(弱者いじめ含)や善悪が表立って(悪い時は悪いと言える)相手の人格を尊重する雰囲気作りをお願いします。 部活動が嫌だ(行きたくない)と言う事が多くなった。部活動の人間関係が疲れるようです。先輩や同じ部活動のメンバーの口の悪さ、先生に対する態度が悪く、身近で見ている嫌になるそうです。
・子どもは学級・学校でよい影響を受け、正しい行動がとれている。		B	
・子どもは意欲的に行動し、成長している。		B	
・子どもは町の行事(教育祭、大運動会、梨の里マラソン、環境美化の日など)に参加し、社会参加意識が高まってきている。		B	
・子どもは自分の行動に責任がもてるようになっている。		B	

	<ul style="list-style-type: none"> ・登校拒否は直ったが油断すると学校を休もうとする事があります。毎日が戦いです。クラス替えをもう少し考えてほしかった。 ・部活動や各種文化活動での子どもたちの活躍の様子や地域のボランティア活動への取組の状況を見るに、芳賀中学校は本当に素晴らしい学校だと誇りに思います。この状態がいつまでも続きますように、日頃のあいさつや交通マナー、日常生活の指導を地道に続けて頂きたいと思います。 ・校長先生が朝、登校する子どもたちを見届けてくれ感謝しています。 	
--	--	--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

<ol style="list-style-type: none"> <p>1 確かな学力を身に付けた生徒の育成（プロジェクト知）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間の研究において、授業の中で統一して行っていくと決めた、「どの子にも分かりやすい手立て」（授業の始めに本時のねらいの提示、学習過程の提示、視覚情報の提示、個別指導の工夫、学習プリントの工夫等）を全教員で実践した。生徒の「学校づくりアンケート」によると、「授業がわかる」と回答している生徒は昨年度と比較して微増であった。来年度は授業をよりわかりやすくするために、教員が実践した手立てが生徒にとって本当に分かりやすいのかどうかをその授業の中でアンケート調査し、次時に生かしていく。 ・基礎的・基本的な知識や技能の定着のために、「朝の小テスト」「質問・自習の時間」「長期休業中の学習会」を実効性があるものとなるように改善する。 ・思考力・判断力・表現力の育成のための話し合い活動や伝え合い活動を一部の教科でしかやれていなかったのを、全教科で実践していく。また、知識・技能を活用する学習活動の論述等も全教科で実践していく。総合的な学習の時間については、課題解決学習になるよう、各学年の担当者を中心に検討する。 ・主体的な学習態度の育成のために、興味・関心をもてる授業づくりに向けて授業研究を行うなど、さらに全職員で取り組んでいく。家庭学習の習慣化のために、「家庭学習の手引き」を改善し年間を通して指導していく。 <p>2 豊かな心をもつ生徒の育成（プロジェクト徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の実質的な授業時数が確保されていないので、振り替え授業等で確保に努める。 ・道徳教育を学校と家庭で連携していくことをねらいに、道徳の授業参観(年1回)、道徳通信の発行(年2回)が実施できた。その取組がどの程度保護者に伝わっているか、「学校づくりアンケート」によって調査し確認し、働きかけていく。 ・生徒は学校行事に積極的に取り組み、感動を味わい、自己有用感や自尊感情が高まっている。来年度も、芳賀中学校の伝統を守り、学校行事に取り組んでいく。 ・清掃活動を通して心が育つよう取り組み、生徒の90%からは「一生懸命取り組んでいる」と回答があったが、教員の30%からは十分成果をあげているとはいえないという回答があった。清掃活動における「6つのルール」を徹底させるとともに、一生懸命働くとはどういう活動なのか具体的に指導していく。 <p>3 健やかな体をもつ生徒の育成（プロジェクト体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化は、教員の取組はよく行われたが、生徒の「学校づくりアンケート」では、「早寝・早起き・朝ご飯を実践している」と回答している生徒は82%であった。朝ご飯については、1年生において後半になって食べてこない生徒が増えてしまった。食育の授業によって、より一層生徒や保護者に働きかけていく。 ・体力づくりは部活動に頼っているところが多いが、体育集会を企画し、運動の楽しさを味わわせる。 ・インフルエンザ対策については、残念ながら臨時休業(学級閉鎖)が起こってしまった。対策の具体的な行動を、養護教諭を中心に全職員で意識を高めて実践していく。 ・部活動の部長会議を実施し、そこで各部の目標を立てさせたことによって、どの部も目標をもって活動できた。しかし、生徒の「学校づくりアンケート」によると、40人の生徒が「部活動に目標がもてていない」と回答しているので、この生徒に対して個別に指導し、やりがいをもたせていく。 <p>4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成（生き方指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芳賀中版「学業指導の手引き」を作成した。今後これを有効活用するように教職員に働きかけることと、内容の改善に努めていく。 ・生徒の「学校づくりアンケート」によると、「学級に居心地がよい」と回答している生徒は85%であった。「居心地がよい」と感じていない生徒が15%(63人)いるので、その一人一人に目を向けて、居心地のよい学級づくりをしていく。友だちに対する優しさ、コミュニケーション能力をつけさせ、人間関係構築力を培っていく。また、不適応を起こしている生徒には、支援教室担当、養護教諭、スクールカウンセラーが連携をとって支援するようにする。
